

ディスコミュニケーション



[ディスコミュニケーション 下载链接1](#)

著者:植島 啓司

出版者:リブレポート

出版时间:1988-11

装帧:

isbn:9784845703678

情報化社会が進展する中で従来のコミュニケーション論ではとうてい理解しえないような状況や、文字やイメージによる限定された“裂け目”にすぎないコミュニケーションの背後にひろがっている多層的で直感的なコミュニケーションの形態について、『男が女になる病気』(1980 朝日出版社)や『分裂病者のダンスパーティ』(1985 リブレポート)等の著書で知られる植島啓司と、『20世紀写真史』(1988 筑摩書房)、『ジオラマ論』(1986 リブレポート)、『生体廃虚論』(1986 リブレポート)等の著書で知られる伊藤俊治が、人類学・宗教学・美術史・写真史・

美術評論・メディア論などのジャンルから、建築・デザイン・音楽・映画・ダンス・人工知能などのテーマまで19世紀文化から20世紀文化全般を視野に入れ、約三年の歳月を費やし語った対話集。本文とカードの相互で対応し合うという3枚のカルチャーマップ（ドラッグ、カルト、エレクトリック）と29枚のキーワード集からなる付属のカード群を付属した戸田ツトムによる凝った造本構成にも注目の一冊。

作者介绍:

目录: まえがき 植島啓司

ZONE A

ディスコミュニケーションへの地平

メディアの変貌

想像力とプログラミング

浮上するメディア・スーツ

ZONE B

フリークスとミュータント

バイオケミカル・ランドスケープ

感覚変換器

ランダム回路と超自然

トランキリティ・カプセル

開放系・閉鎖系

ZONE C

ロボットと人間

記憶の生成

図像とトポス、記憶と物質

快感マシーン

ZONE D

サイバネティクス・シード

イルカとリリー

ブレイン・コンピュータ

想像力とイメージ

ZONE E

トランスネットワーク

定常系（パリ）

非物質へ

テクノロジーと身体

振動するエネルギー

あとがき 伊藤俊治

．．．．．(收起)

[ディスコミュニケーション 下载链接1](#)

标签

extensive_reading

评论

让我想起“幽白”

让我想起“幽白”

[ディスコミュニケーション_下载链接1](#)

书评

[ディスコミュニケーション_下载链接1](#)